

名証IRエキスポ

会社説明資料







ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile



2023年9月

	会社概要・強み	_____	P. 2
	2023年3月期 決算概要	_____	P.22
	2024年3月期 業績予想	_____	P.30
	市場環境・成長戦略	_____	P.32

# 会社概要・強み

---



社名	ICDAホールディングス株式会社
設立	2009年10月1日
本社	三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
代表者	代表取締役社長 向井弘光
資本金	1,161百万円
発行済株式総数	2,099,793株（自己株式207株を除く）
事業内容	自動車販売関連事業 【(株)ホンダ四輪販売 三重北】 【(株)オートモール】 自動車リサイクル事業 【(株)マーク・コーポレーション】
売上高	30,496百万円（連結）（2023年3月期）
経常利益	1,404百万円（連結）（2023年3月期）
従業員数	385名（連結）（2023年3月期）

# ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile

<b>I</b>	nternational	.....	国際的
<b>C</b>	onglomerate	.....	複合事業体
<b>D</b>	istribution	.....	流通
<b>A</b>	utomobile	.....	自動車

新車から中古車・リサイクルまで幅広く取り扱い、  
自動車流通にイノベーションを起こすことを目指す企業グループ

我々は、すべての商品に愛情と情熱を持ち、  
つねに初心を忘れず、  
真心をもってお客様に接しご満足していただくことを誇りとする。

各種提案



販売



カーライフサポート

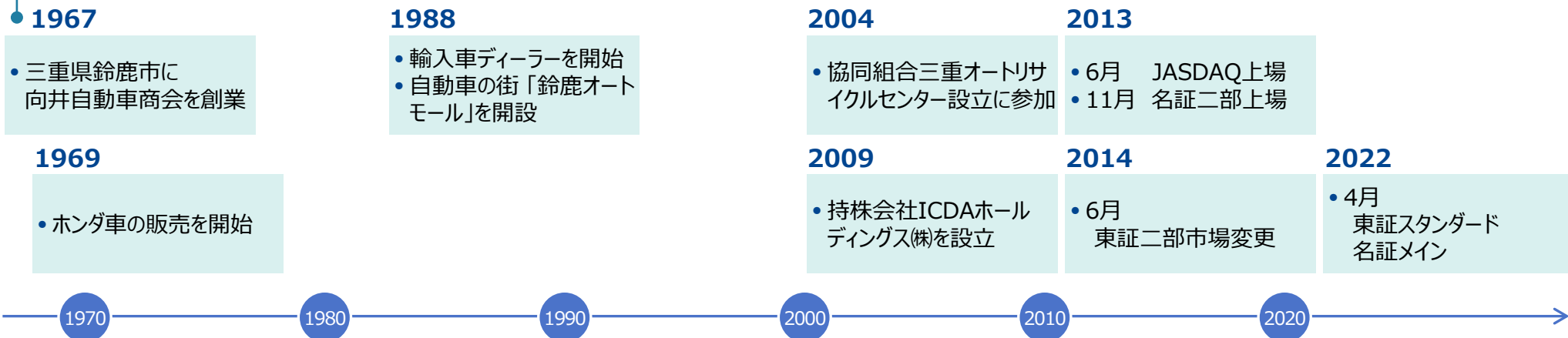


## ■ 自動車の分野での事業化を目指し24歳の時に創業



代表取締役社長  
**向井 弘光**

- 1943年 三重県熊野市に生まれる
- 1960年～ 名古屋で働きながら、バイクレースに参加するために鈴鹿サーキットへ
- 1967年 5月 向井自動車商会（現(株)オートモール）創業代表
- 1972年 9月 向井自動車販売(有)（現(株)オートモール）設立代表取締役
- 1977年12月 向井自動車販売(株)（現(株)ホンダ四輪販売三重北）設立代表取締役
- 1978年 9月 (株)ホンダベルノ三重北代表取締役
- 2001年10月 (株)オートモール代表取締役会長兼社長（現任）
- 2007年 6月 (株)ホンダ四輪販売三重北代表取締役会長（現任）
- 2009年 4月 (株)マーク・コーポレーション代表取締役社長（現任）
- 2009年10月 ICDAホールディングス株式会社設立代表取締役社長（現任）

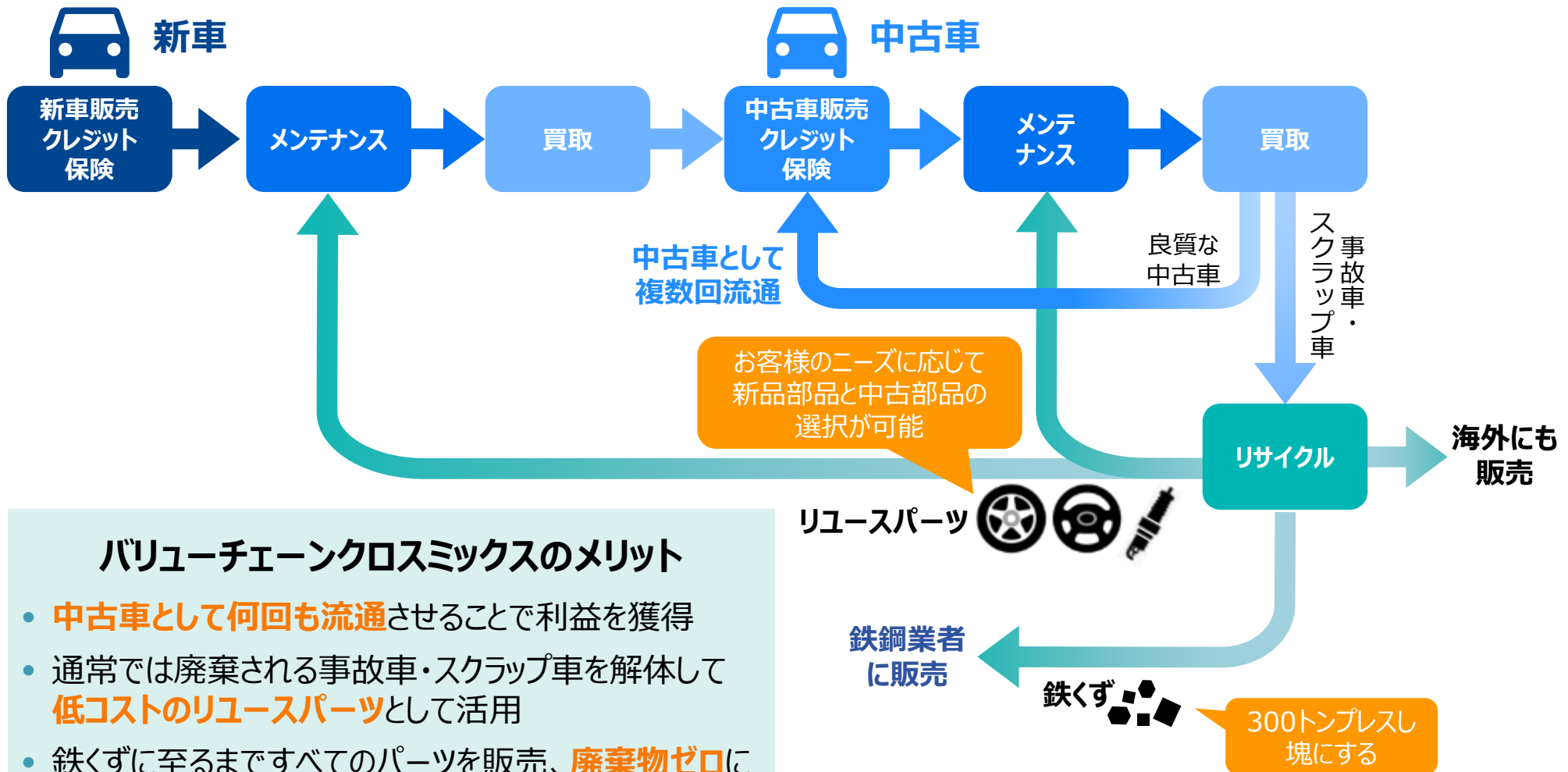


## ■ 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大





- グループ間で、新車販売・中古車販売・中古車買取・アフターサービス・リサイクルの流通経路を網羅することで、お客様に向けて商品やサービスの付加価値を最大化



## バリューチェーンクロスミックスのメリット

- **中古車として何回も流通**させることで利益を獲得
- 通常では廃棄される事故車・スクラップ車を解体して**低コストのリユースパーツ**として活用
- 鉄くずに至るまですべてのパーツを販売、**廃棄物ゼロ**に

## ■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

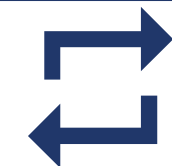
① 収益機会の増加



② 独自の中古車流通



③ リユースパーツの活用

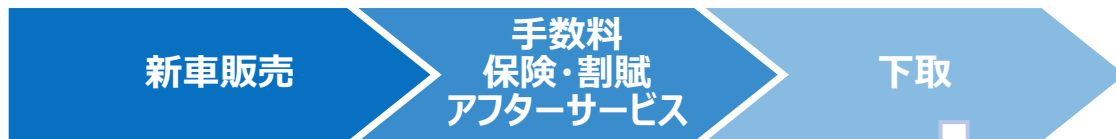


④ 店舗開発ノウハウ

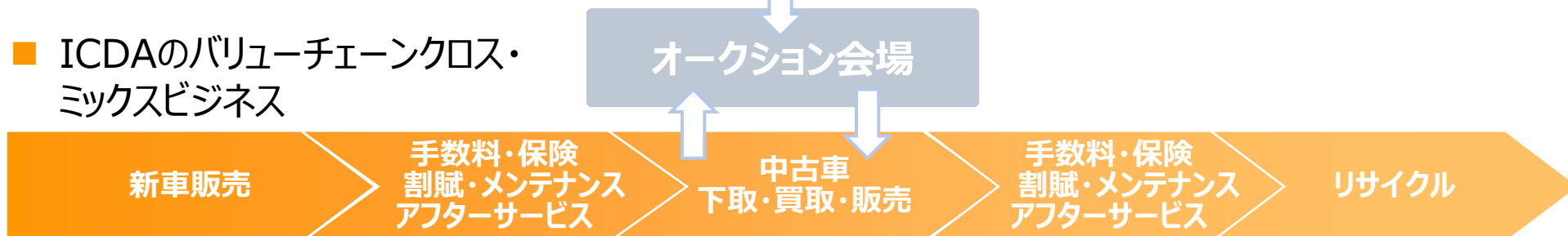


# ①収益機会の増加

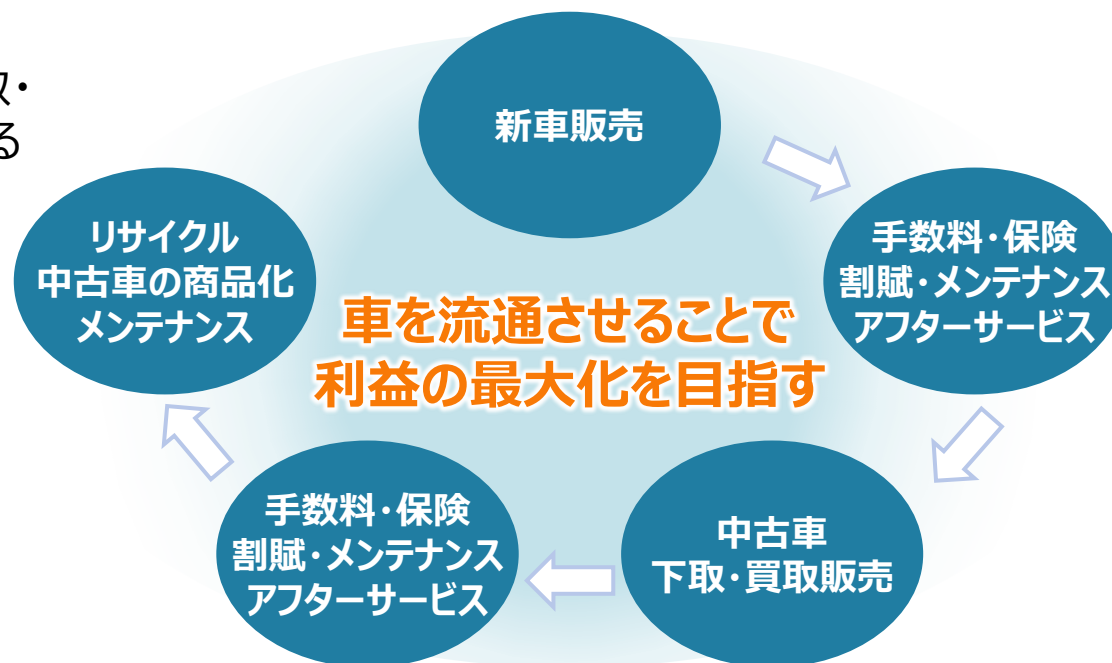
## ■一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



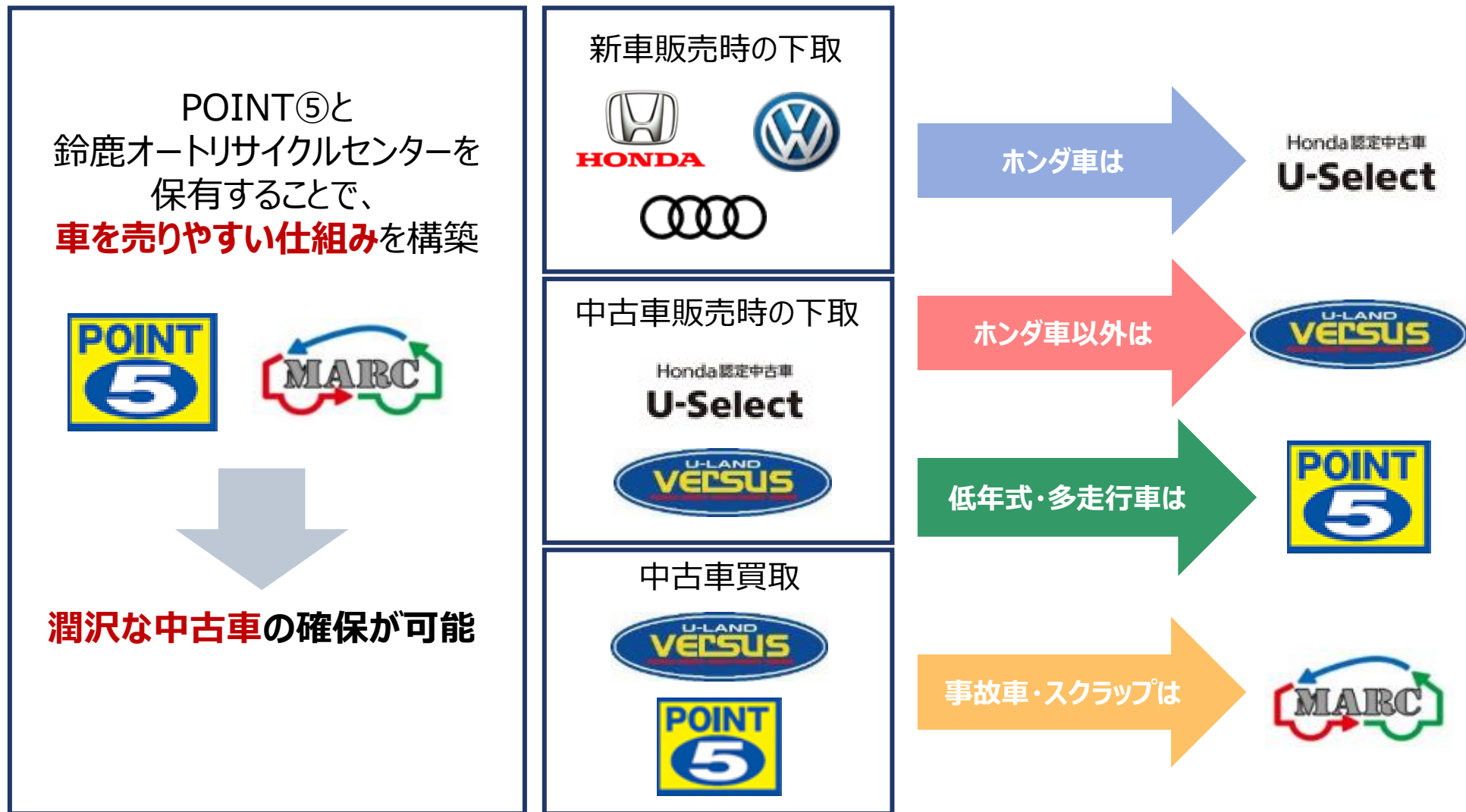
## ■ ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の**収益機会が増加**

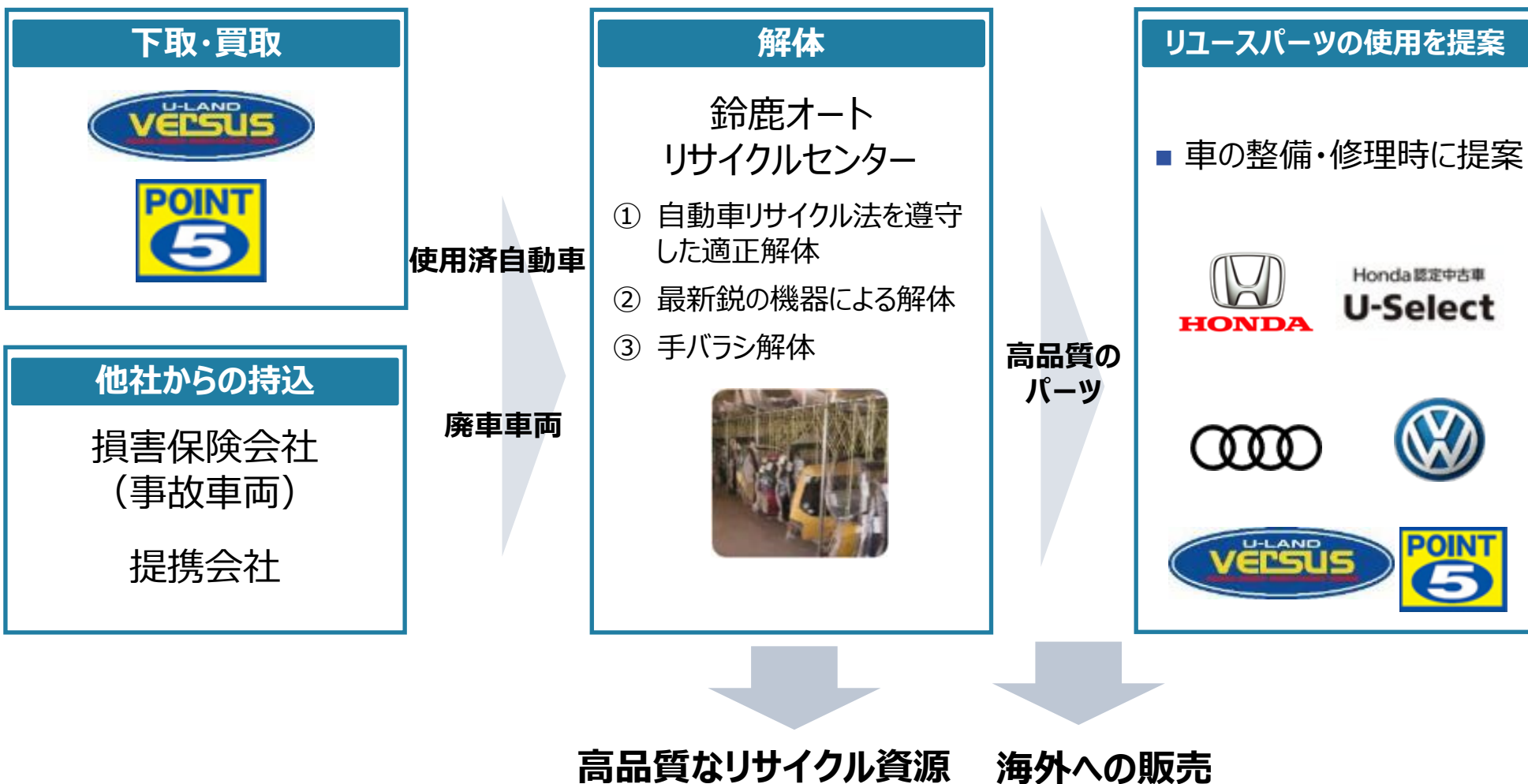


### ■車の種類・状態等に合わせて、**グループ内で効率よく流通**



### ③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- **低コストでの修理が可能**となり顧客満足度が向上



- 複数のブランドを組み合わせることで**マーケットに合わせた店舗展開**が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することで**ターゲット層が拡大し、集客力が向上**

## (1) 複合型店舗

新車ディーラーを核とした複合型



✓ 幅広いターゲットに対応

## (2) 小規模併設店舗

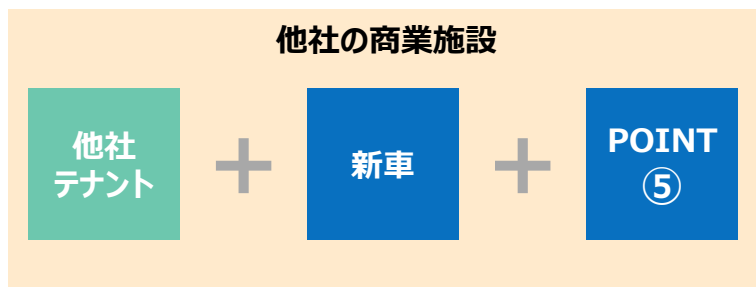
POINT⑤と組合せた出店



✓ 低コストのオペレーション

## (3) 隣接型店舗

他社商業施設内での展開



✓ ファミリー層に対応

## (4) ライフ・ミックス・オートモール

当社敷地に他社テナントを誘致した複合施設



✓ 幅広いターゲットに対応

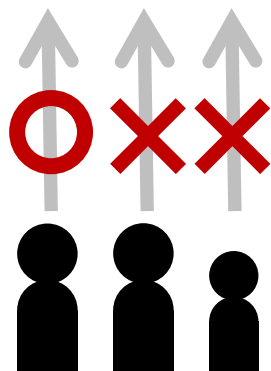
- 新車・中古車の異なる業態を組み合わせる複合型店舗（オートモール）を6箇所で開催中
- 地域にあった最適な業態の店舗を組み合わせることで、集客力の向上、新規出店費用の抑制へ

単独出店の場合

顧客を取り逃がす可能性が高い



このメーカーで  
買いたい！



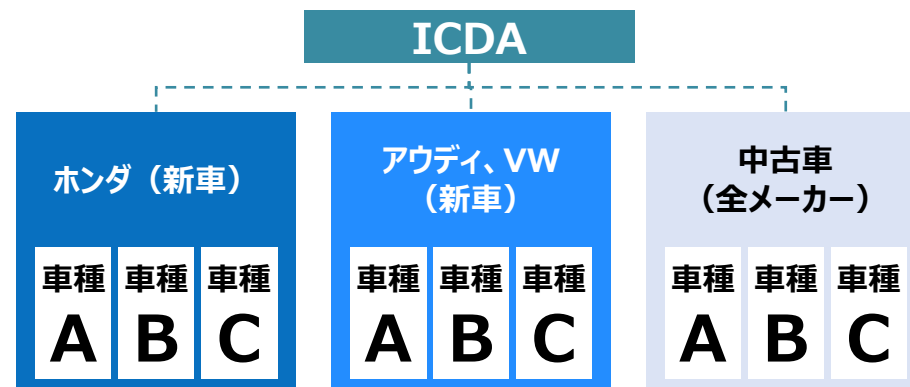
消費者（家族）

選択肢が少ない

ICDA

複合型店舗（オートモール）の場合

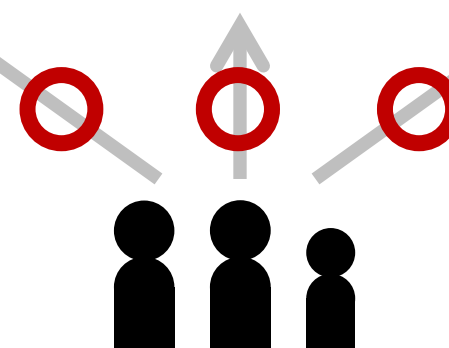
幅広い顧客の取り込みが可能



ホンダ車

輸入車

2台目需要、  
価格重視 など



消費者（家族）

## ■ 人口の多い北部エリアを中心に店舗を展開

**4つのエリアで三重県の人口の約60%をカバー**

### 桑名・いなべエリア：4店舗

- ホンダカーズ三重北：2店舗
- ヴァーサス：1店舗
- POINT⑤：1店舗

### 四日市・三重郡エリア：9店舗

- ホンダカーズ三重北：4店舗
- ヴァーサス：2店舗
- アウディ三重：1店舗
- フォルクスワーゲン：1店舗
- POINT⑤：1店舗

### 津エリア：4店舗

- ホンダカーズ三重北：1店舗
- ヴァーサス：1店舗
- アウディ三重：1店舗
- POINT⑤：1店舗

### 鈴鹿・亀山エリア：12店舗

- ホンダカーズ三重北：5店舗
- U-Select：2店舗
- ヴァーサス：1店舗
- ヴァーサスプラス：1店舗
- アウディ三重：1店舗
- POINT⑤：2店舗

### 伊勢エリアによいよ進出！

## 伊勢オートモール

2024年3月 完成予定

- ホンダカーズ三重北 (12店舗)：ホンダの正規ディーラー
  - U-Select (2店舗)：ホンダ車専門の中古車業態
  - ヴァーサス★ (5店舗)：全メーカーを扱う中古車業態
  - ヴァーサスプラス★ (1店舗)：ハイセレクト中古車業態
  - アウディ三重 (2店舗)：アウディの正規ディーラー
  - フォルクスワーゲン (2店舗)：フォルクスワーゲンの正規ディーラー
  - POINT⑤★ (8店舗)：全メーカー中古車
- ★ オリジナルブランド

未出店エリア

NEWS



- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、**幅広い顧客層**にお車を提供することが可能

★はオリジナルブランド

業態名	事業内容	取扱車種例	店舗数
アウディ三重	アウディの正規ディーラー	A3、A4、Q3、Q5、A8、R8、e-tron	2
フォルクスワーゲン	フォルクスワーゲンの正規ディーラー	Polo、Golf、T-Cross、Pasaat、Arteon、T-Roc	2
ヴァーサスプラス ★	ハイセレクト中古車業態	全メーカー中古車	1
ホンダカーズ三重北	ホンダの正規ディーラー	N-BOX、フィット、ヴェゼル、フリード	12
ヴァーサス ★	全メーカーを扱う中古車業態	全メーカー中古車	5
U-Select	ホンダ車専門の中古車業態	ホンダ車中古車	2
POINT⑤ ★	低年式・多走行の中古車販売と買取強化店舗	全メーカー中古車	5

# 業績推移 (2016年3月期→2023年3月期)

## ■ 厳しい環境の中、持続的な成長を実現

2016年3月期

2023年3月期

売上高

234億円

29.9%増

304億円

2016年3月期

2023年3月期

純資産額

41億円

107.3%増

85億円

経常利益

5億円

2.8倍

14億円

自己資本比率

27.6%

25.4Pt増

53.0%

経常利益率

2.3%

2.0倍

4.6%

ROE

8.3%

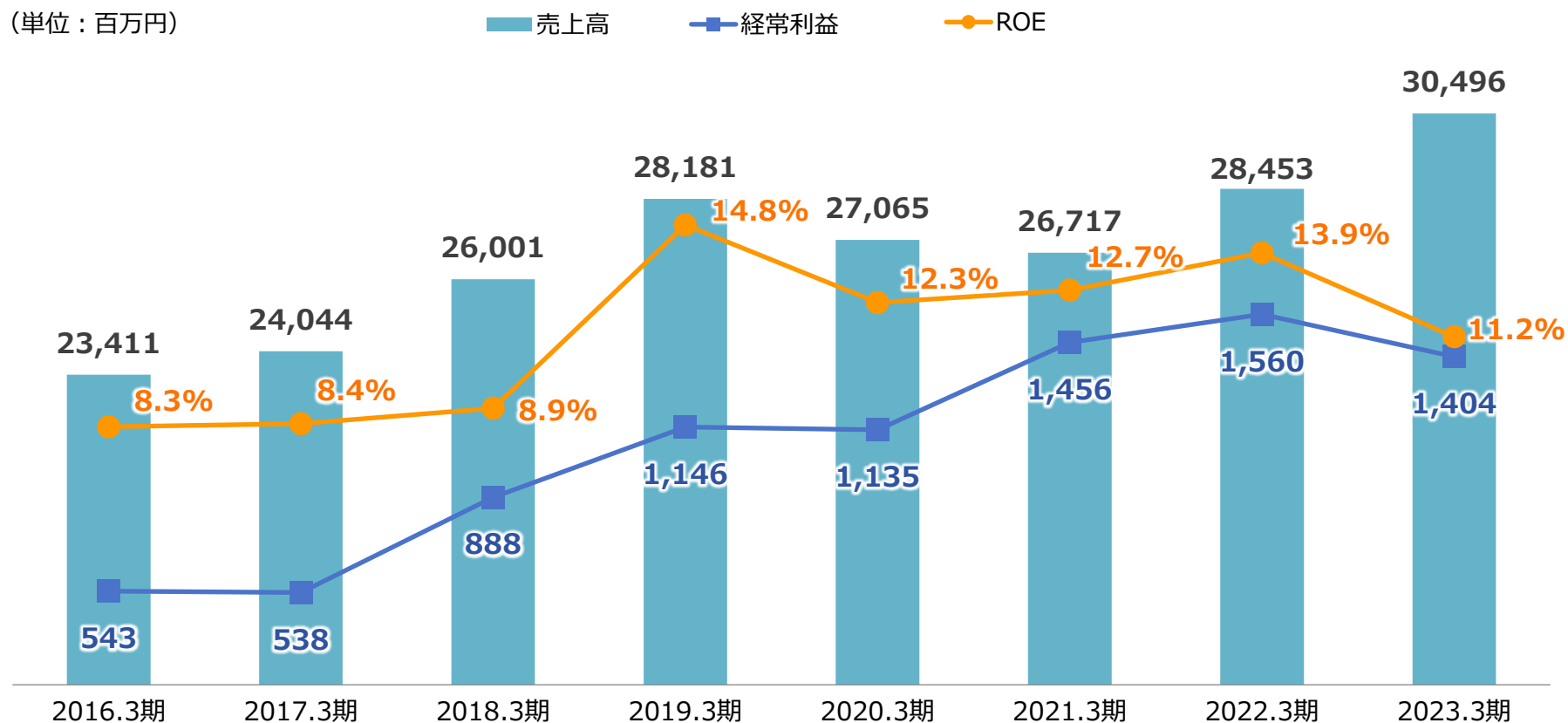
2.9Pt増

11.2%

## ■ 三重県を地盤に、業容を拡大しながら持続的に成長

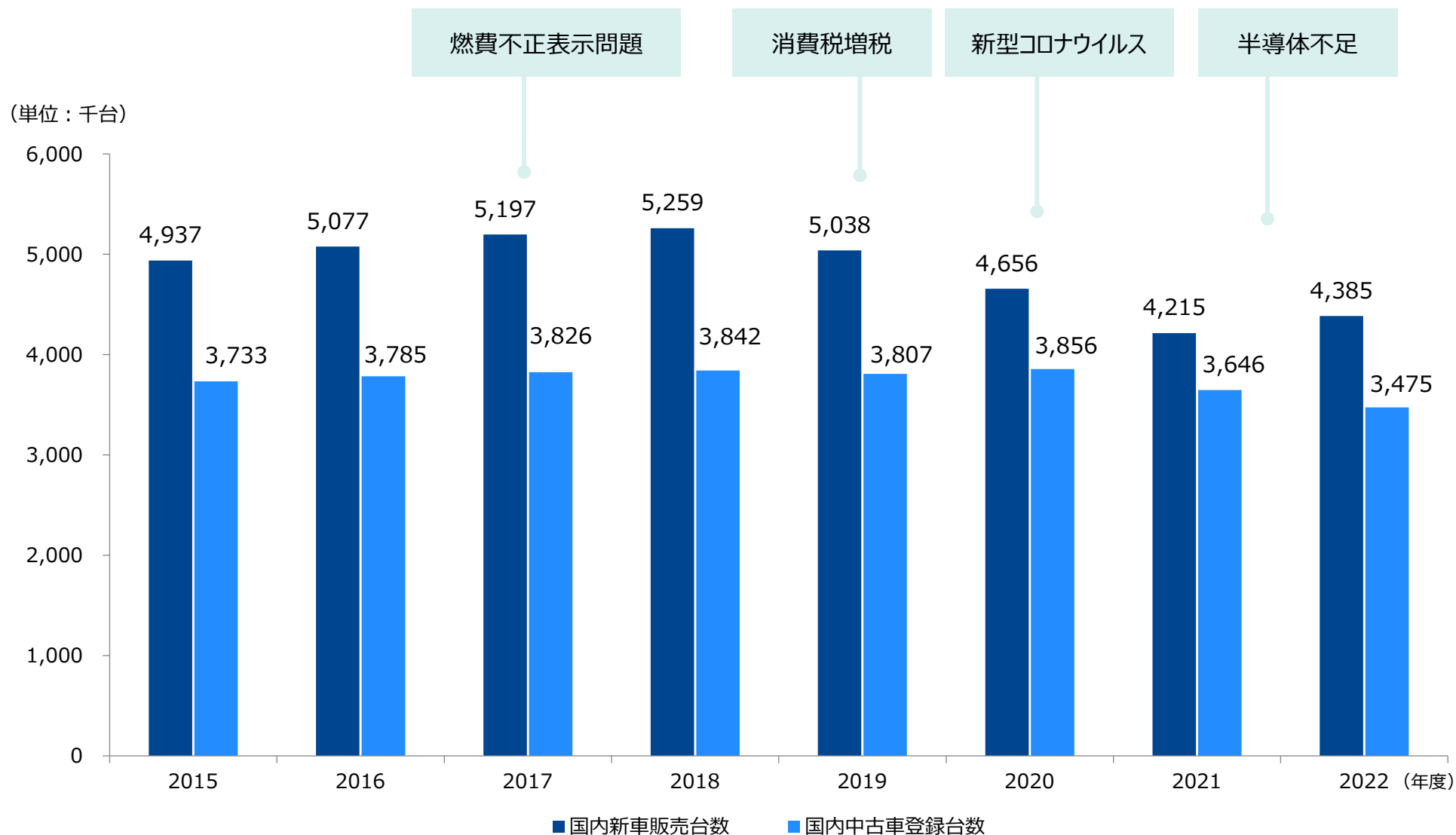
### 売上高・営業利益推移

(単位：百万円)



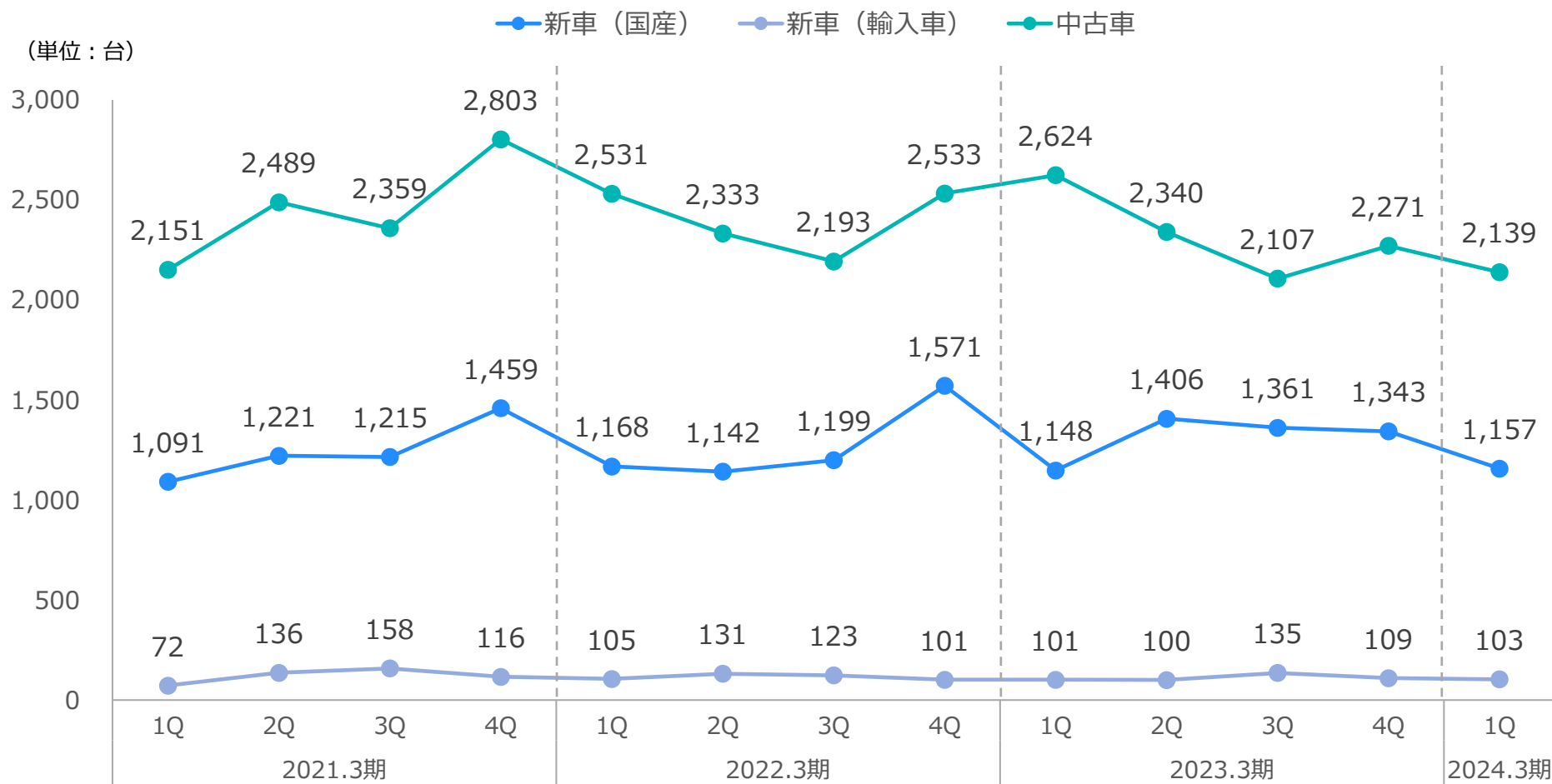
決算年月		2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高	(百万円)	28,181	27,065	26,717	28,453	30,496
経常利益	(百万円)	1,146	1,135	1,456	1,560	1,404
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	737	679	788	975	883
純資産額	(百万円)	5,437	6,006	6,763	7,709	8,568
総資産額	(百万円)	14,989	14,663	14,716	15,253	15,618
1株当たり純資産	(円)	2,508.40	2,772.15	3,119.21	3,549.22	3,943.40
1株当たり当期純利率	(円)	351.38	323.57	375.45	464.75	420.75
自己資本比率	(%)	35.1	39.7	44.5	48.9	53.0
自己資本利益率	(%)	14.8	12.3	12.7	13.9	11.2
株価収益率	(倍)	5.6	3.6	6.3	5.2	6.7

# 国内新車販売台数の推移



出所：(社)日本自動車販売協会連合会HP統計資料より当社作成

## 過去3年の四半期販売状況



# 2023年3月期 決算概要

---




- 既存顧客に対するフォローアップ活動の強化を図り、受注は堅調に推移
- 半導体不足等による商品の供給遅れ又は出荷停止等の影響を受ける

## 連結業績


売上高

**30,496**百万円

 前年同期比 **+7.2%**


経常利益

**1,404**百万円

 前年同期比 **▲10.0%**

経常利益率


**4.6**台

 前年同期比 **▲0.9Pt**

## 自動車販売関連事業


新車国産車販売台数

**5,258**台

 前年同期比 **+3.5%**


新車輸入車販売台数

**445**台

 前年同期比 **▲3.3%**

中古車販売台数


**9,342**台

 前年同期比 **▲2.6%**

## 自動車リサイクル事業


再資源処理生産台数

**9,051**台

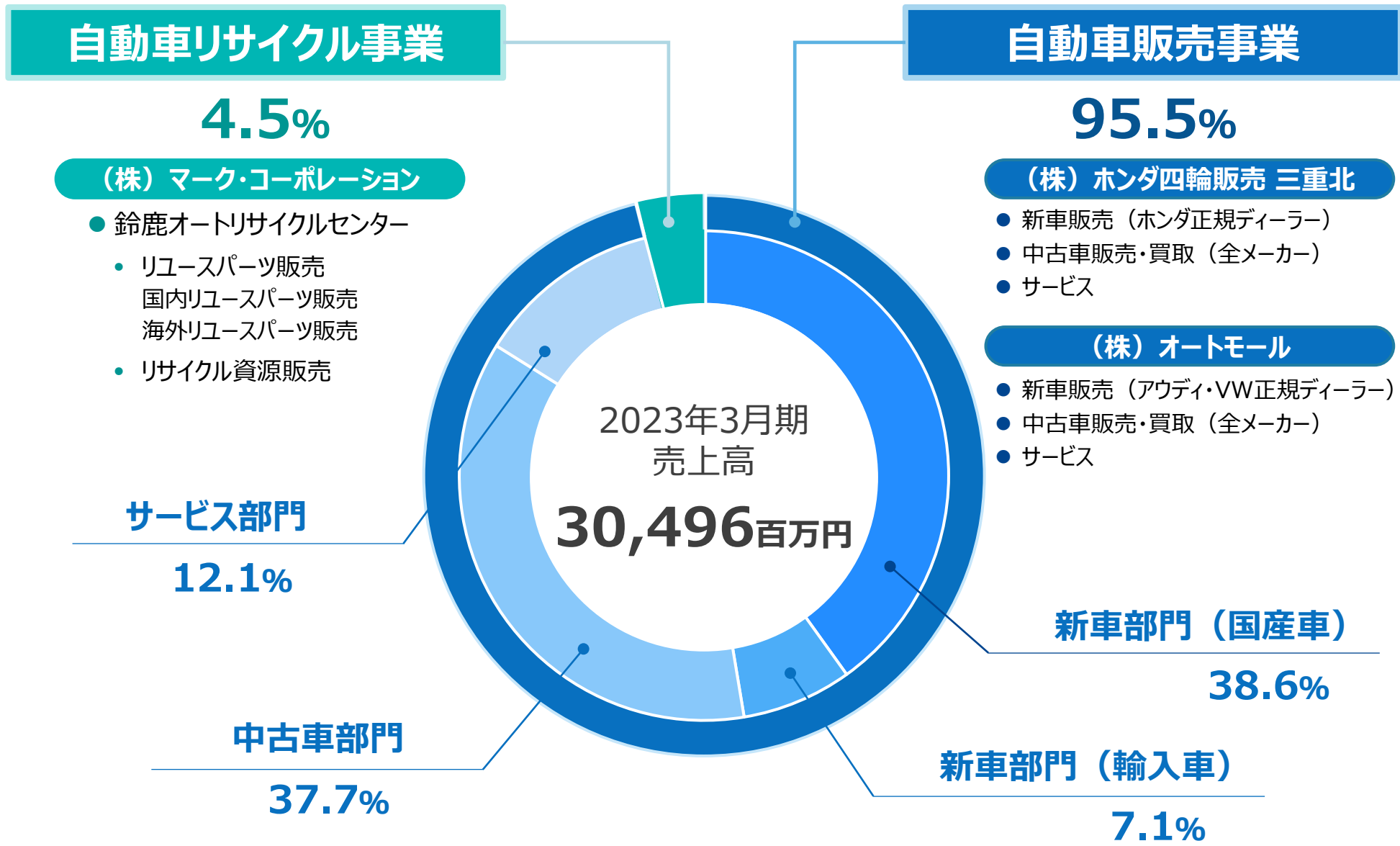
 前年同期比 **+7.0%**

使用済自動車台数

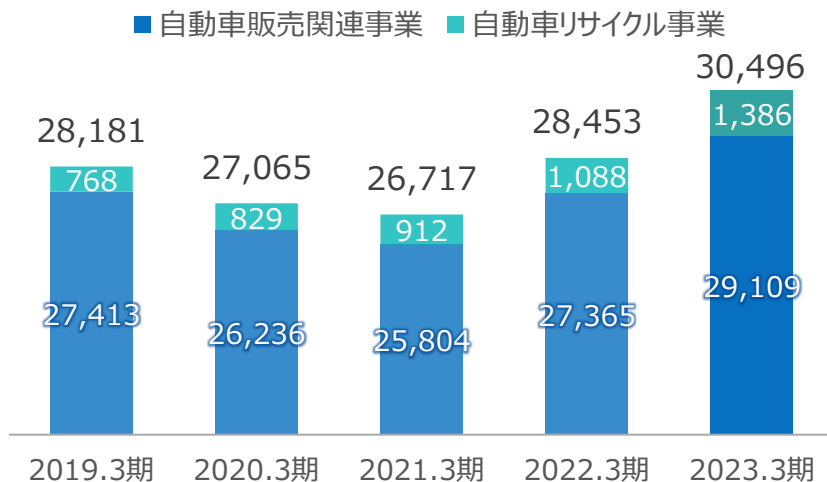
**9,390**台

 前年同期比 **+14.3%**

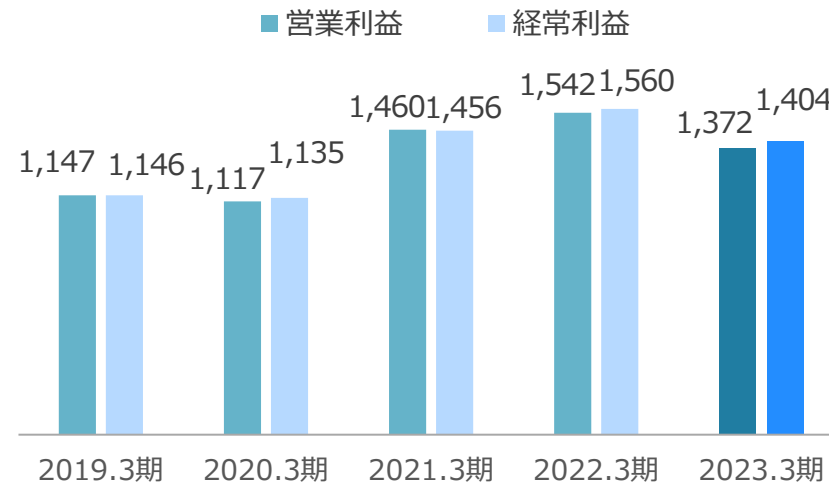




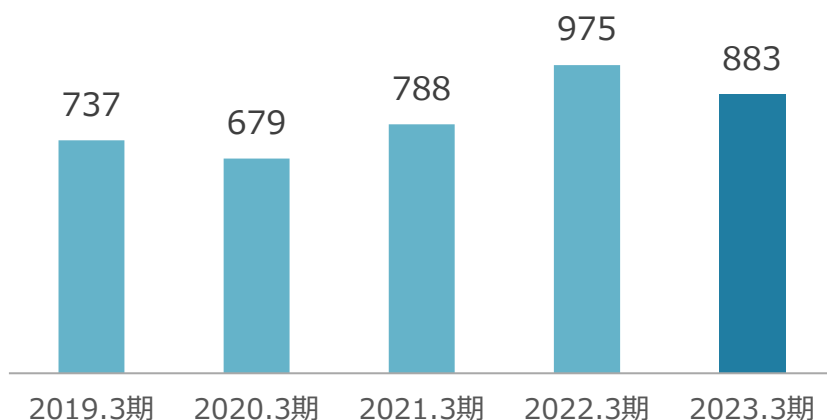
## 売上高 (百万円)



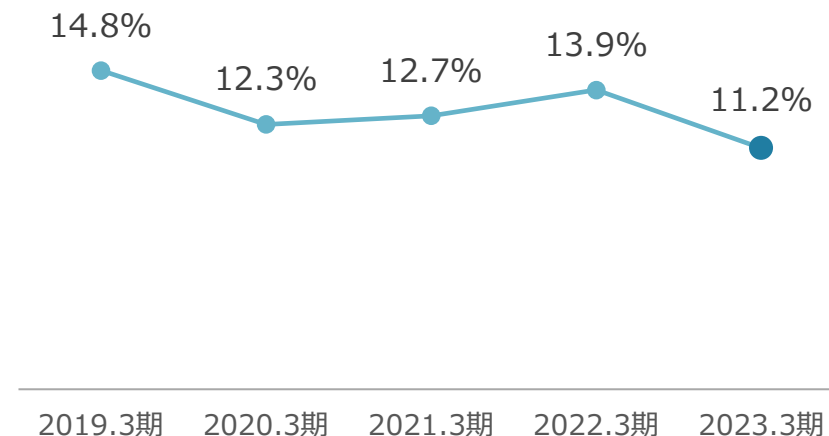
## 営業利益・経常利益 (百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

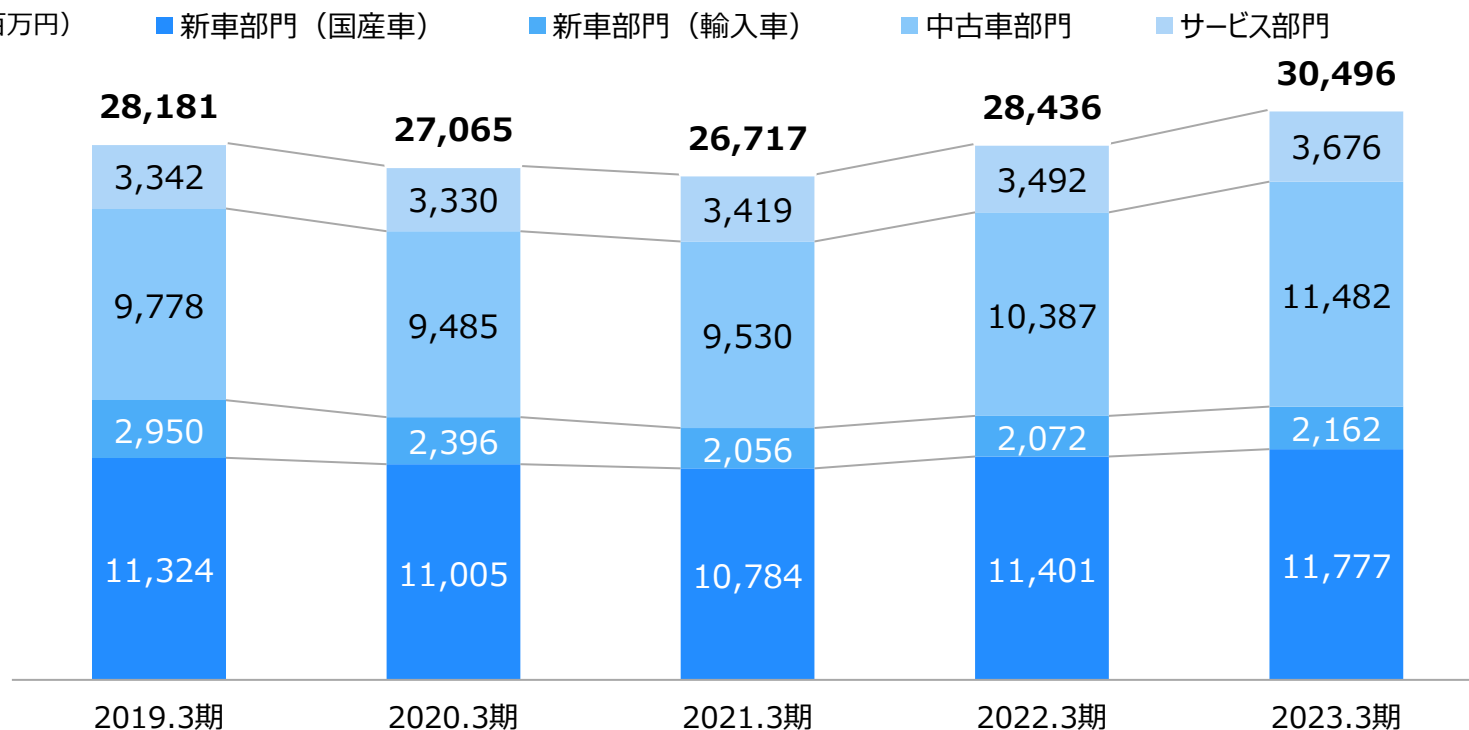


## ROE (%)



# 自動車販売事業 売上高推移

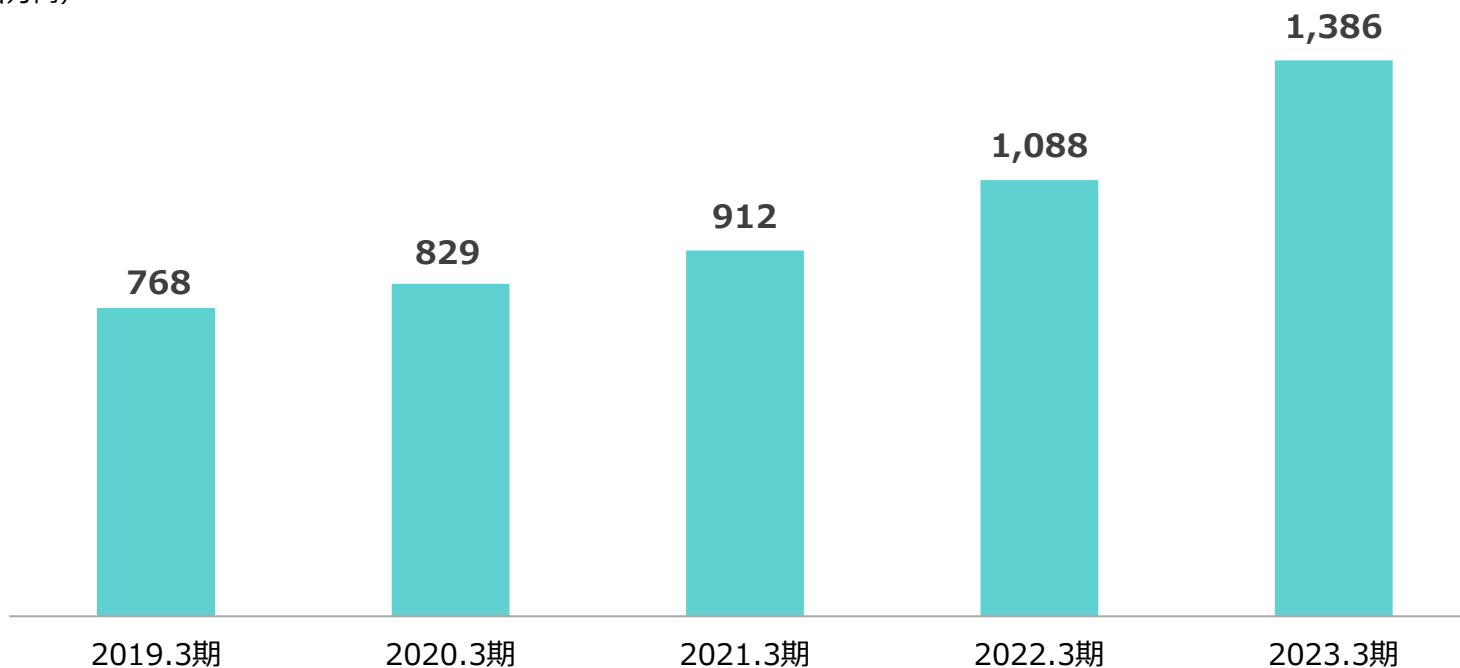
(単位：百万円)



(単位：台)

グループ 販売台数の推移	2021年3月期			2022年3月期			2023年3月期			
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比
新車国産車	2,312	2,674	4,986	2,310	2,770	5,080	2,554	2,704	5,258	📈 3.5%増
新車輸入車	208	274	482	236	224	460	201	244	445	📉 3.3%減
中古車	4,640	5,162	9,802	4,864	4,726	9,590	4,964	4,378	9,342	📉 2.6%減

(単位：百万円)



(単位：台)

グループ 販売台数の推移	2021年3月期			2022年3月期			2023年3月期			
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比
再資源化处理※1	5,137	5,356	10,502	4,499	3,961	8,460	4,576	4,475	9,051	↗ 7.0%増
使用済自動車※2	5,591	4,803	10,394	3,887	4,331	8,218	4,300	5,090	9,390	↗ 14.3%増

※1 再資源処理：仕入れた使用済自動車を分解・シュレッダー処理した台数

※2 使用済自動車：スクラップ処理する自動車を仕入れた台数

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額
流動資産	4,916	4,945	+29
固定資産	10,336	10,672	+336
資産	15,253	15,618	+365
流動負債	6,206	5,931	▲275
固定負債	1,338	1,119	▲219
負債	7,544	7,050	▲494
資本金	1,161	1,161	0
資本剰余金	1,148	1,148	0
利益剰余金	5,103	5,882	+779
純資産	7,709	8,568	+859

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,783	3,194	+1,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,488	△2,269	△781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△500	△923	△423
現金及び現金同等物の期首残高	882	676	△206
現金及び現金同等物の期末残高	676	678	+2

# 2024年3月期 業績予想

---



# 2024年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	
	実績		予想	増減額
売上高	30,496	31,000	+504	+1.7%
営業利益	1,372	1,383	+11	+0.8%
経常利益	1,404	1,400	△4	△0.3%
親会社株式に帰属する当期純利益	883	914	+31	+3.5%

(単位：台)

	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	
	実績		予想	増減数
新車（国産車）販売台数	5,258	5,300	+42	+0.8%
新車（輸入車）販売台数	445	500	+55	+12.4%
中古車販売台数	9,342	10,200	+858	+9.2%
生産台数（再資源化処理）	9,051	9,500	+449	+5.0%



# 市場環境・成長戦略



## 長期的な市場環境

- 消費嗜好や生活スタイル等の変化による自動車離れ
- ユーザーの保有期間の長期化
- カーシェアリングの普及等による非保有化
- 少子高齢化の進行による人口動態の変化
- 半導体不足による車両および部品供給の遅れ
- EV化へのシフトの加速




## 当社

### 課題

- 内部統制の強化とコーポレート・ガバナンスの充実
- 人材（人財）の確保、育成
- バリューチェーンクロス・ミックスビジネスの強化の推進

### 取り組み

- 既存顧客へのアスターサービスの充実
- 太陽光発電設備及び蓄電設備等の環境に配慮した店舗開発
- リサイクル事業の積極的な広報戦略及び技術開発戦略の展開
- 自動車リサイクルにおける全部再資源化処理の推進（一部機械化へ）

	取り組み	SDGs目標
<h2>E nvironment</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素社会の実現へ向け、店舗での電気使用管理の徹底、一部店舗への太陽光パネルを設置等を実施</li> <li>店舗・サービス工場・事務所等の整理・整頓・清掃、また周辺の美化活動の推進</li> <li>ゴミの分別や油脂等の適切な取り扱い、管理を徹底</li> <li>使用済自動車のリサイクル事業（鈴鹿オートリサイクルセンター）</li> <li>鈴鹿オートリサイクルセンターにおける、海外・県内外からの見学者に対する環境啓蒙活動、子供たちへの教育活動の支援</li> </ul>	
<h2>S ocial</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴鹿市との災害時における車両の提供等に関する協定の締結</li> <li>スーパー耐久レースへの参戦</li> <li>地元、地域活動への積極的な参加</li> <li><b>女性活躍推進プロジェクトの実施</b></li> <li><b>営業会議・等級別勉強会・研修・ミーティング・外部研修等、目標達成、考える力の育成のための質の高い社員教育を実施</b></li> <li><b>新卒採用活動の強化</b></li> </ul>	
<h2>G overnance</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会・取締役の監査・監督機能の充実を図るため監査等委員会設置会社を採用</li> <li><b>経営幹部を支える役員や管理職を育成するため「次世代経営者候補人材育成研修」を実施</b></li> <li>会社説明資料などに長期ビジョンを掲げ、株主・投資家と共通認識を醸成</li> <li>インターネットによる議決権の電子行使を実施</li> <li>経営陣の能力を示すスキルマトリックスを開示</li> </ul>	

## 鈴鹿オートリサイクルセンター

三菱マテリアル社・ホンダトレーディング社・当社グループのマーク・コーポレーションの3社で共同実施したNEDO事業「**使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発**」で導入した実証試験設備を設置

### ■ 希少金属回収事業

- レアアース及びレアメタルに係わる技術開発やデータ収集などの事業化が順調
- 自社生産品だけでなく他社からの素材を回収し、徐々に成果が出ている



マーク・コーポレーションの次世代事業

一般社団法人産業環境管理協会主催  
「環境循環 技術システム表彰」で  
「レアメタルリサイクル賞」受賞



### 実施体制



出所：一般社団法人産業環境管理協会 3R先進事例発表会 資料 (2015.10.16)

## 社会貢献（スーパー耐久レースへの参戦）

- スーパー耐久に参戦するバースレーシングプロジェクトにスポンサーを行う
- 社員教育の一環として、サービススタッフのレース現場研修

### スーパー耐久レース

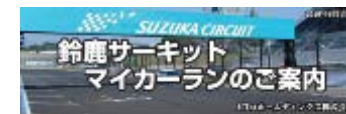
- 日本最大の耐久レースのトップカテゴリー
- アジアを代表する国内最大の耐久レースシリーズ
- 会場：全国のサーキット  
(仙台・栃木・富士・鈴鹿・岡山・熊本)
- 開催：年間6戦  
富士では24時間耐久レースが開催

 **2017年・2018年：2年連続シリーズ3位を獲得**  
**2019年：シリーズチャンピオンを獲得**



## 鈴鹿サーキット マイカーラン走行会

株主総会後に、鈴鹿サーキット国際レーシングコースを使用したマイカーランを実施



## モータースポーツ友の会（鈴鹿市）

### 協賛内容

レーシングドライバーの運転でコースを体験走行する子供向けイベントにおいて、走行車両7台、展示車両1台を協力



## 採用活動の強化

### 採用の段階で厳選し、将来有望ない人材を獲得

#### 求める人材

- 意欲的・向上心がある
- 明確な将来への目標がある
- 体力がある
- チャレンジ精神にあふれる
- コミュニケーション能力が高い
- 人と接するのが好き



過去5年間の新卒採用者のうち  
**50%が体育会学生**

スポーツ強豪校で活躍した社員も多数所属

#### 育成方針

- **入社1年目から多くの顧客を担当**  
お客様の数150～250名を配属後に引き継ぎ
- **若手の段階からチャンスが豊富**  
新規来店は早い者勝ち、年齢・経験関係なし
- **トップセールスから直接学ぶ**  
全国トップレベルのセールスと一緒に働き、学べる
- **充実したスキルアップ・トレーニング**  
現場や座学での研修を通じて、「営業スタイル」を身に着ける
- **人間力向上を重視した人材育成**  
魅力ある人材になれるよう、誠実さと向上心を教育



## ■ ホンダ社ディーラーの中で毎年トップクラスの売り上げを誇る人財を育成

### 基礎からしっかり学び約5年で一人前のセールスマンに育成

ホンダ年間表彰新車部門（営業スタッフの部）

**2年連続 第1位** 当社社員獲得

#### 育成のための施策

- 1年を通じた新人研修の実施
- 姿勢や表情や声に至るまで徹底指導
- 先輩の営業現場に同行
- ロールプレイの反復練習

生涯  
カーライフパートナー  
を实践する  
セールスマンを育成

ホンダ年間表彰新車部門（拠点の部）

**最優秀拠点賞** 当社拠点獲得

ホンダ年間表彰新車部門（法人の部）

**最優秀販社賞** 当社獲得

中古自動車査定士技能コンテスト

**全国 第1位** 当社社員獲得

Honda Tops（セールスコンテスト）

**全国 第1位** 当社社員獲得

一人前の  
セールスマン

入社約5年でホンダカーズ販売台数

**中部トップ10** 多数輩出

ホンダカーズ販売店地場資本 販売台数ランキング  
(ホンダディーラー約570社内)

新入社員を  
採用

やる気のある人材を採用

	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
売上順位	10位	5位	4位	4位	4位

## 女性活躍推進プロジェクト

2020年、女性活躍の取り組みとしてグループ内の男女差を是正していくため立ち上げられたプロジェクト

育成方針

単発の研修で終わらせることなく、実際の現場において管理職、中核人材として成長・活躍できるまでをサポート

### グループ管理職に占める女性の割合

2025年3月期



目標：5%

将来の女性幹部候補が増加



女性幹部候補の割合

5.7%

【2023年3月期】



10.0%以上

【2025年3月期 目標】

女性が実力を発揮・活躍できる機会をつくり、研修で身につけた知識を活かし、マネジメント力等向上について考え実践できるように取り組む

## 鈴鹿市との災害協定の締結

災害時における車両の提供等に関する協定

目的 様々な支援を通して被災者の支援を円滑に実施すること

- 地震等による大規模災害発生時に公用車が不足した場合における車両の貸与
- 停電した避難所へ非常用電源となる電気自動車の支援 等



## 三重バイオレットアイリス（女子ハンドボールチーム）

ハンドボール女子日本リーグチーム「三重バイオレットアイリス」を支援

ホンダ四輪販売三重北所属



飯塚 美沙希 選手



横田 希歩 選手

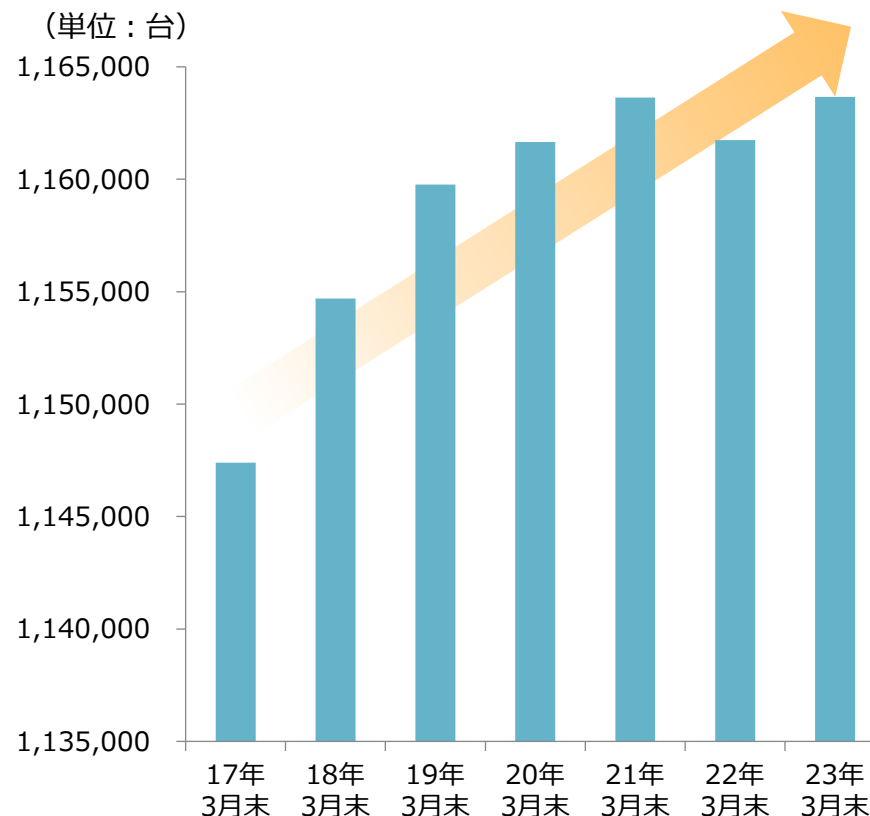


## ■ 三重県においては、自動車保有台数の増加が続く

東海三県の自家用乗用車※の普及台数及び保有台数  
(2023年3月末)

県名	普及台数/ 世帯 (台)	全国順位	保有台数 (千台)	全国順位
愛知	1.232	30位	4,214	1位
岐阜	1.530	8位	1,295	18位
三重	1.430	15位	1,162	21位
全国	1.025	—	61,743	—

三重県の自家用乗用車保有台数推移



出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成

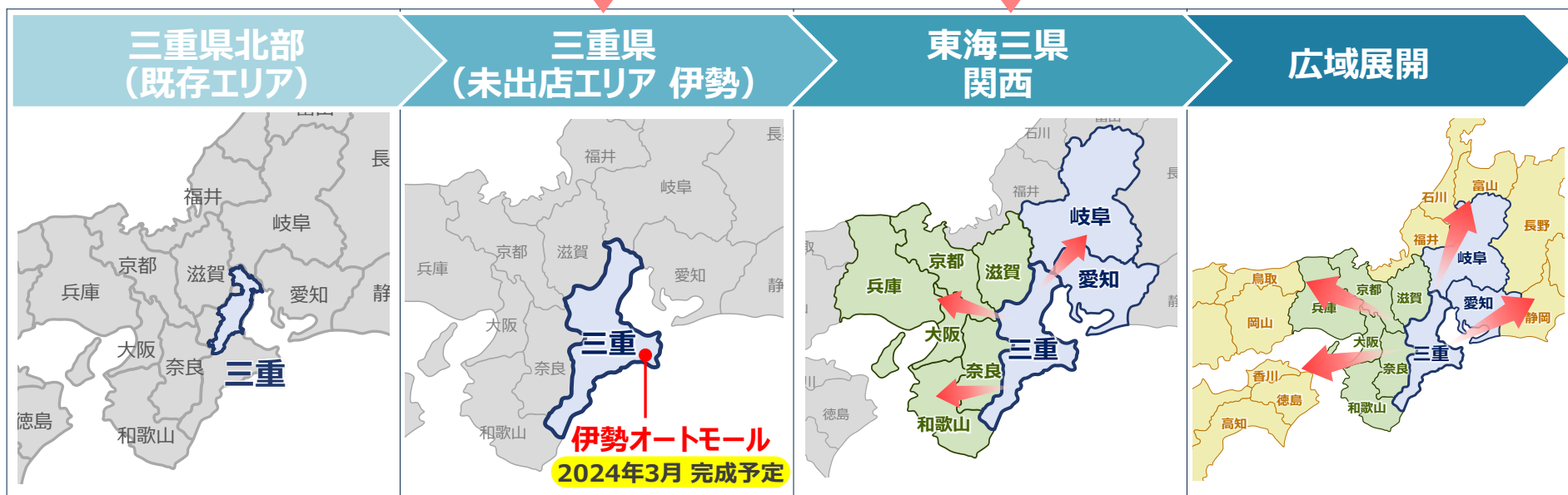
出所：(社)日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

※ 自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進（伊勢オートモール）
- 中期的には**M&A**を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランドPOINT⑤を**積極展開**

現在のステージ

5~10年構想



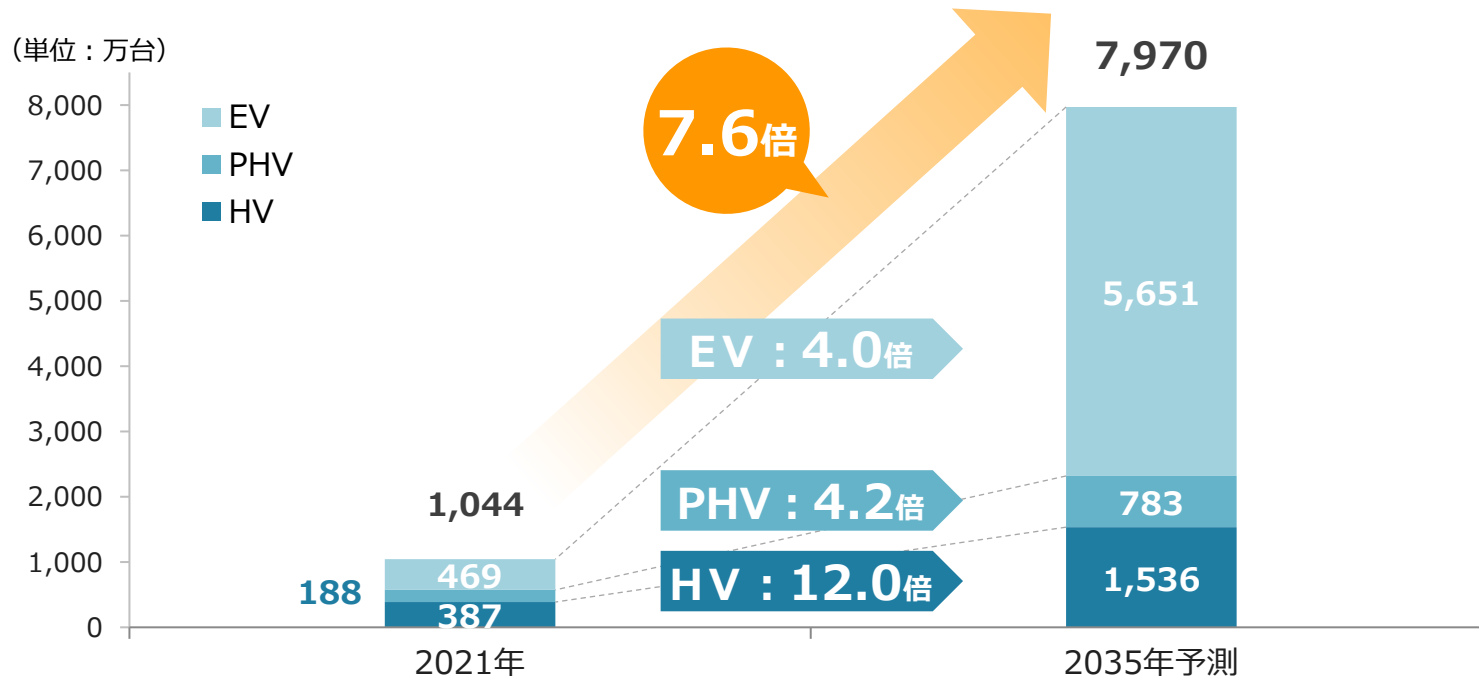
## 出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数  
1.0台以上

## EV・PHV・HV車の市場動向予想（乗用車・新車販売台数）



出典：富士経済「HV・PHV・EVの世界市場を調査（2022年8月9日）」

## EV・PHV・HV車のリサイクルが自動車産業の大きな課題

広報戦略・技術開発戦略も展開し、無駄のないリサイクルの実現へ

## 太陽光発電設備及び蓄電設備等の環境に配慮した店舗



名称：伊勢オートモール

- 新車 & 中古車併売店
- 車買取センター
- POINT⑤伊勢店

太陽光パネル

蓄電設備  
急速充電器

- EV車時代にも対応
- EV車充電スタンド併設

太陽光  
発電

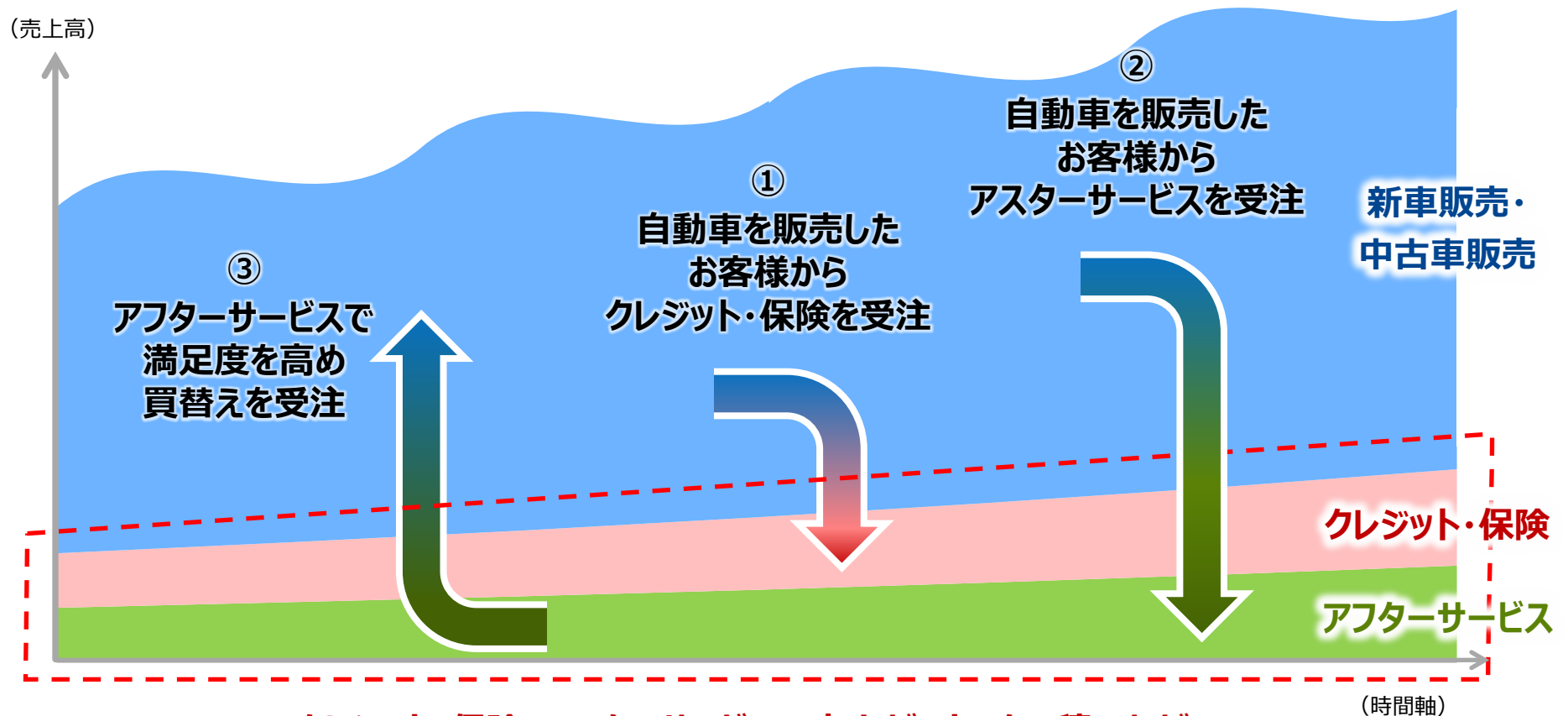
蓄電設備

急速  
充電器



## ■販売、クレジット・保険、アフターサービスの**相乗効果**で安定的な収益を確保

### 自動車販売事業売上高推移のイメージ



**クレジット・保険、アフターサービスの売上がストックで積みあがる**

■ アフターサービス ■ クレジット・保険 ■ 新車・中古車販売

- 収益力の強化、積極的なIR活動を実行し、PBR向上に取り組む



- IR活動の強化

- IRイベント、会社説明会に参加
- 流動性不足への対応

- 投資家との対話の推進

- 成長性に対する期待の醸成
- 十分な市場評価を得る

- 売上高経常利益率

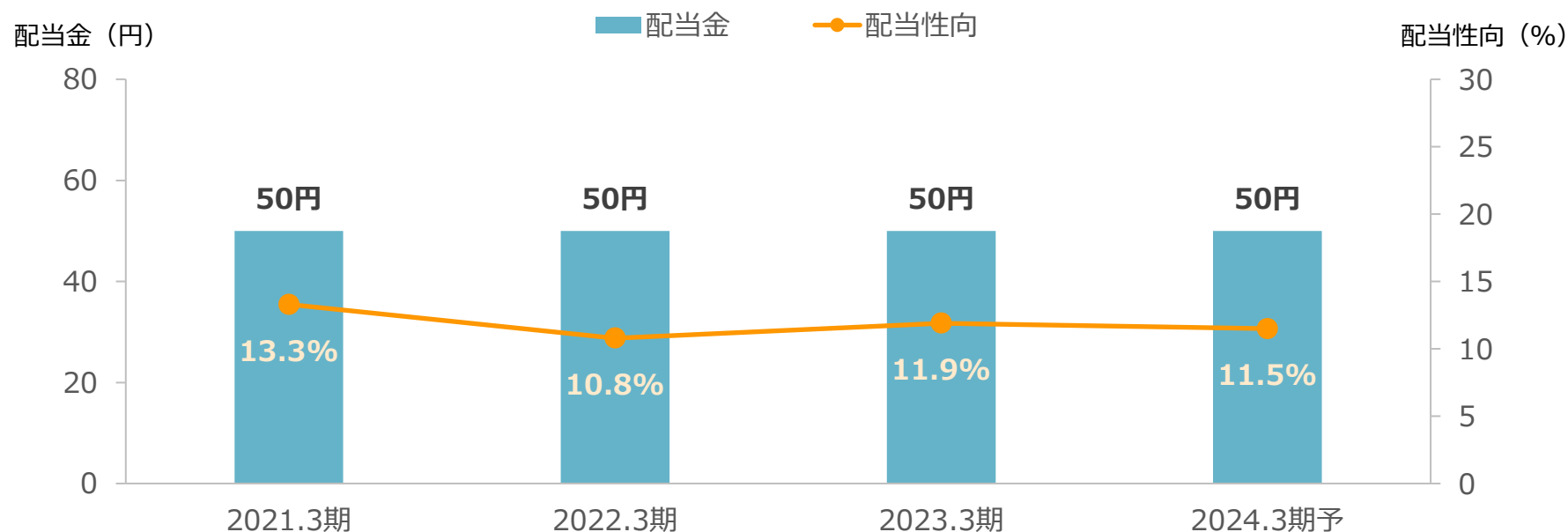
- 4%を安定的に達成
- 利益率の更なる向上
- IT化の推進による合理化

 **PBR1倍超の達成へ**

## 基本方針

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、  
1株当たり年間配当50円以上を基本に安定配当を継続

## 配当の状況



※業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

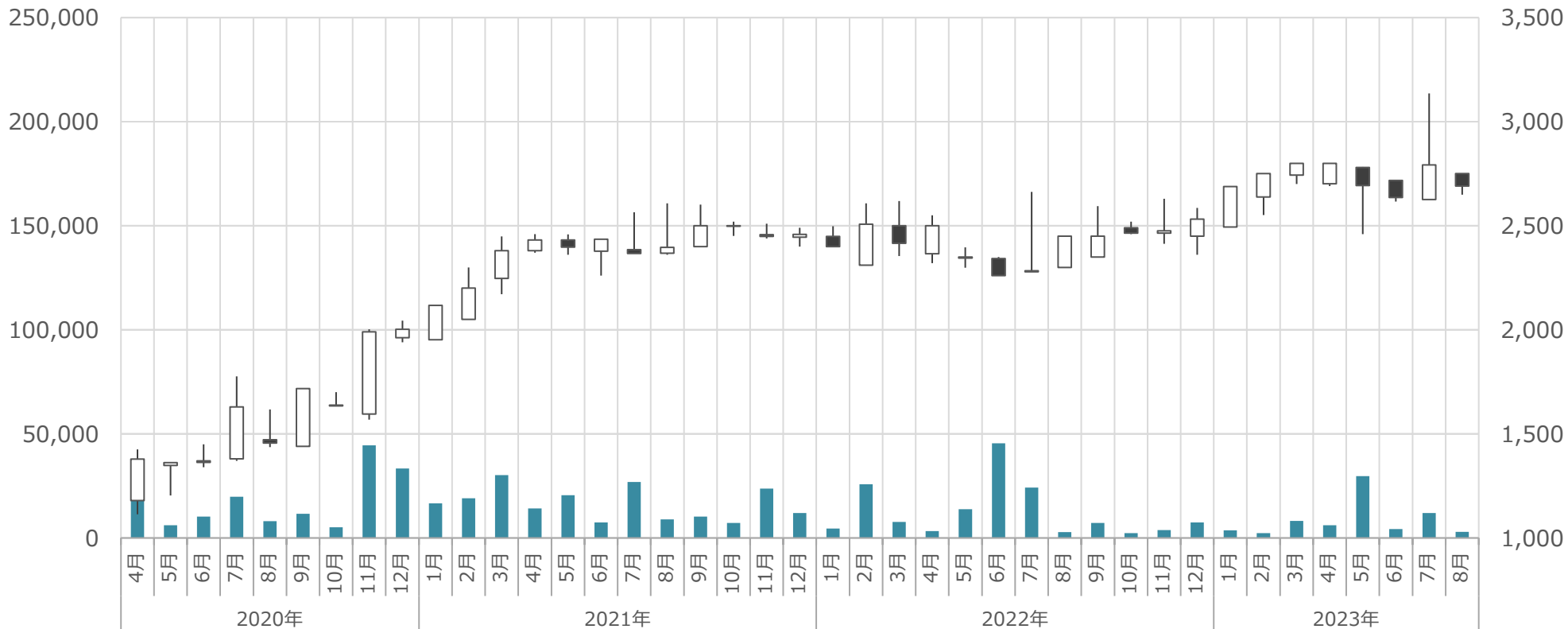
# 株価推移(月足ベース 2020年4月～2023年8月)

終値

2,709円 (2023年9月6日現在)

出来高 (千株)

株価 (円)



最低投資金額

270,900円

純資産倍率 (PBR)

0.67倍

株価収益率 (PER)

6.22倍



本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により 予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

## 本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先



**ICDAホールディングス**

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

【TEL】 059-381-5540

【FAX】 059-384-2881

【URL】 <https://www.icda.jp/>